

エジソンクラブの教材と 幼児低学年指導

メリット

1. 教材コンテンツの確かさ(学力アップ)
教育委員会、私立小、幼稚園、保育園
中小塾から大手まで全国2000教室での採用
2. 無学年自立学習で競争力ある運用(効率的)
先生が教えない仕組み
生徒が自分で進める
特別な先生を必要としない
先生の仕事は進行管理

運用の特徴

- 自分で取り組めるレベルから学習をスタートさせることにより自分の力でレベルアップできる仕組みになっている
 - 年中～小4が98段階の小冊子になっていてスモールステップになっている（同じ冊子を2～3冊繰り返して学習して定着させる 90点以上で次のステップに）
 - すべてのページが5分でできるように設計されているので進行管理の目安が明確
-
- 導入時は学期セット
 - 慣れてくれば、学期セット＋個別教材

基礎学習ってなに

- 算数のつまずきの原因は基礎の不備
- 「基礎」「基本」は大切。でも「基礎」と「基本」は違う
(スポーツを例に考えるとよくわかる！)
- さんすうの基礎とは
 - ことば(用語)の深い理解(教科書の歴史からも明らか)
 - 概念がなければ文章題など解けない
 - 図形感性の育成
 - リアルな教材でトレーニングすることでイメージできるようになる

大手計算教室とのちがい、差別化

- 計算教室のさんすう学習へのアプローチ
- 順序数から「たす1」へそして計算、算数
かずとことば(概念)が不備のまま機械的作業
- 順序数(1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8、……20)
から計算にアプローチで足りないことは

教科書で見直された内容とは

先生方が現場で見ている実態

- 「計算」はできるけれど……
 - 学力がついていない
 - 習ったことさえ忘れている
- 基礎ができていると
 - 習ったことを組み合わせて解答を導く
 - 習わないことでも推測がつく

まとめ

強み

コンテンツと効率的運用

基礎と基本は違う

「さんすうことば」と「図形感性」

計算教室との違い、差別化

計算教室で勉強した子どもたち

キラートーク

算数が得意になるメリットってなんだ